

現地調査における主なコメント

項目	No.	コメント要旨
防波壁及び1号放水連絡通路防波扉の 周辺斜面の安定性評価	1	防災科研調査結果の地滑り地形①の範囲については、開削面露頭上部の礫質土に認められる黒色の層や凝灰岩と思われる礫の分布も踏まえて観察事実を整理するとともに、より詳細なルートマップを作成した上で、地形・地質の観点から表層すべりの有無について整理すること。
	2	ボーリングコア及び露頭において確認された局所的に岩級の低い凝灰岩について、その性状や連続性を確認するとともに、斜面の安定性評価への反映について検討すること。
	3	ボーリングコア(19W1等)及び開削面露頭において確認されたドレライトを露頭観察結果(スケッチ等)に反映すること。
	4	代表的な岩級の写真を示す等により、岩級区分の妥当性を説明すること。
	5	防波壁(西端部)の開削面露頭及びボーリングコア(19W5)において確認された凝灰岩について、溶結構造の有無を確認すること。
	6	防波壁の西端部及び東端部の露頭においてスランプ褶曲が認められることから、分布する層準について整理すること。
	7	ボーリングコア(303)の深度79.33m以深のドレライトの細脈については、高帯磁率を呈することから、その成因について地質学的な観点から整理し説明すること。
	8	今回の現地調査で説明したボーリングデータを提示すること。
	9	2号原子炉建物西側背後斜面に確認された過褶曲構造については、追加観察結果を資料化すること。

現地調査における主なコメント

項目	No.	コメント要旨
土石流影響評価	10	測点位置及び簡易貫入試験結果を踏まえた土石流影響評価の考え方について説明すること。
	11	土石流危険溪流⑤について、B-3測点からB-1測点にかけて急傾斜から緩傾斜になっている地質的要因を説明すること。
	12	土石流危険溪流にある防火帯の施工範囲における土砂量の取り扱いについて考え方を示すこと。
	13	土石流危険区域に含まれる重要施設を示すとともに、その代替施設が土石流の影響を受けないことを説明すること。
耐津波設計	14	防波壁(東端部)岩着部の露頭付近における落石について、漂流物評価への影響の有無を説明すること。
	15	1号放水連絡通路防波扉について、クラックの成因・対処方法、既設範囲と新設範囲並びに両者の接合部の取り扱い等を説明すること。